平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名　日華化学株式会社　　上場取引所　名
コード番号　4463　URL　http://nicca.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 江守　康昌
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長　(氏名) 林　幸照　TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,949	3.9	374	17.6	337	6.4	203	30.4
24年3月期第1四半期	7,648	△0.1	318	△18.4	317	△8.3	156	△3.3

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　1,081百万円　(209.9%)　24年3月期第1四半期　348百万円　(△16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	11.58	―
24年3月期第1四半期	8.88	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	36,621	12,364	28.7	597.93
24年3月期	35,527	11,534	27.8	561.97

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　10,523百万円　24年3月期　9,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	6.5	620	1.7	600	2.6	400	31.0	22.73
通期	34,500	11.2	1,350	29.4	1,350	22.4	800	61.7	45.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	17,710,000 株	24年3月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	109,601 株	24年3月期	110,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	17,600,024 株	24年3月期1Q	17,601,389 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興事業等を背景とする緩やかな回復の兆しがみられるものの、欧州を中心とした金融問題や円高の長期化、電力不足への懸念などから景気は先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は79億４千９百万円（前年同期比3.9％増）、営業利益は３億７千４百万円（同17.6％増）、経常利益は３億３千７百万円（同6.4％増）、四半期純利益は２億３百万円（同30.4％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化学品事業

売上高は60億３千６百万円（同0.5%減）、セグメント利益は１億４千５百万円（同46.9%減）となりました。

海外では、中国繊維市場が停滞したものの、韓国やインドネシアが好調に推移しました。

国内では、自動車関連薬剤は東日本大震災による落ち込みから回復し堅調に推移しましたが、情報記録紙用薬剤が低迷し、売上高は減少しました。

②化粧品事業

売上高は19億１千２百万円（同20.7%増）、セグメント利益は５億２千９百万円（同42.7%増）となりました。

美容業界は顧客単価減少など環境悪化が続く中、デミコスメティクスにおけるヘアケア剤及びパーマ剤の新商品拡販、山田製薬株式会社による新ブランド「アンサージュ」立ち上げ、イーラル株式会社での新商品拡販等、積極的な事業展開が奏功し、売上高は増加しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、10億９千３百万円増加し、366億２千１百万円となりました。有形固定資産の増加、受取手形及び売掛金の増加及びたな卸資産の増加等により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、２億６千４百万円増加し、242億５千７百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、８億２千９百万円増加し、123億６千４百万円となりました。利益剰余金の減少、為替換算調整勘定の増加及び少数株主持分の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.8%から28.7%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ486千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,168	4,383,463
受取手形及び売掛金	7,599,027	7,877,661
商品及び製品	2,612,571	2,609,795
仕掛品	593,584	595,547
原材料及び貯蔵品	2,517,857	2,610,923
その他	734,148	798,640
貸倒引当金	△31,978	△36,538
流動資産合計	18,398,379	18,839,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,096,678	5,119,079
機械装置及び運搬具（純額）	1,964,765	2,075,286
土地	6,034,750	6,147,357
その他（純額）	1,547,956	1,954,423
有形固定資産合計	14,644,151	15,296,146
無形固定資産		
のれん	24,312	25,486
その他	486,933	467,210
無形固定資産合計	511,245	492,697
投資その他の資産	1,973,740	1,993,039
固定資産合計	17,129,136	17,781,882
資産合計	35,527,516	36,621,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,827,363	4,074,382
短期借入金	7,622,144	7,576,134
未払法人税等	117,568	180,670
賞与引当金	397,000	239,900
その他	1,472,532	1,795,492
流動負債合計	13,436,608	13,866,580
固定負債		
長期借入金	7,486,264	7,292,623
退職給付引当金	2,242,580	2,255,334
その他	827,450	842,709
固定負債合計	10,556,294	10,390,667
負債合計	23,992,903	24,257,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,169	3,040,249
利益剰余金	6,692,217	6,642,479
自己株式	△45,824	△45,542
株主資本合計	12,585,107	12,535,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,039	55,558
為替換算調整勘定	△2,774,611	△2,067,522
その他の包括利益累計額合計	△2,694,571	△2,011,963
少数株主持分	1,644,077	1,840,360
純資産合計	11,534,613	12,364,128
負債純資産合計	35,527,516	36,621,376

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	7,648,776	7,949,192
売上原価	5,180,087	5,285,757
売上総利益	2,468,688	2,663,435
販売費及び一般管理費	2,150,040	2,288,607
営業利益	318,647	374,827
営業外収益		
受取利息	2,033	2,889
受取配当金	8,258	10,959
負ののれん償却額	620	－
持分法による投資利益	24,081	30,888
為替差益	5,412	－
その他	42,560	25,909
営業外収益合計	82,967	70,647
営業外費用		
支払利息	40,548	42,672
為替差損	－	30,950
売上割引	18,548	21,779
その他	25,225	12,563
営業外費用合計	84,322	107,966
経常利益	317,292	337,509
特別利益		
固定資産売却益	－	673
特別利益合計	－	673
特別損失		
固定資産除却損	2,148	1,795
固定資産売却損	389	173
投資有価証券評価損	－	1,053
災害による損失	61,912	－
特別損失合計	64,449	3,022
税金等調整前四半期純利益	252,842	335,160
法人税等	54,138	133,455
少数株主損益調整前四半期純利益	198,704	201,705
少数株主利益	42,333	△2,178
四半期純利益	156,370	203,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198,704	201,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,612	△24,481
為替換算調整勘定	163,853	904,288
その他の包括利益合計	150,241	879,807
四半期包括利益	348,945	1,081,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,611	886,491
少数株主に係る四半期包括利益	42,333	195,020

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,064,591	1,584,184	7,648,776	7,648,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,998	7,779	9,777	9,777
計	6,066,589	1,591,964	7,658,553	7,658,553
セグメント利益	274,649	370,703	645,353	645,353

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	645,353
セグメント間取引消去	4,063
のれんの償却額	1,231
全社費用（注）	△332,000
四半期連結損益計算書の営業利益	318,647

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の測定方法の変更）

在外子会社等の収益及び費用は、従来、在外子会社等の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算しております。この変更は、在外子会社等の収益及び費用の重要性が増し、為替相場の変動が経営管理情報に与える影響が高まってきたことに伴い、為替相場変動による期間損益への影響を平準化することで、より適切に経営管理情報に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法を変更し、前第１四半期連結累計期間の金額を修正再表示しております。

（セグメントの区分方法の変更）

従来、「その他」に区分しておりました医薬品事業等につきましては、平成23年３月31日をもって事業撤退しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,036,291	1,912,900	7,949,192	7,949,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,820	5,763	7,583	7,583
計	6,038,112	1,918,663	7,956,776	7,956,776
セグメント利益	145,881	529,127	675,009	675,009

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	675,009
セグメント間取引消去	4,063
のれんの償却額	1,852
全社費用（注）	△306,096
四半期連結損益計算書の営業利益	374,827

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。